

寄稿

『情報科学会誌』創刊に寄せて

宇田川 宣人

(九州産業大学・学長)



情報科学会誌の創刊にあたり、心からお慶び申し上げます。情報科学会は学部学生と教員にて構成された情報科学及びその関連分野の学術研究を公表することを目的とした組織体ですが、学部発足の初年度からの学会誌の刊行は、本学といたしましても誠に有意義なものと存じます。

本学は、1960年の創立以来、「市民的自覚と中道精神の振興」及び「実践的な学風の確立」を建学の理念として掲げ、「産学一如」の建学の理想の下に、高度情報化社会に対応するため情報処理教育を全学的な教育の一つの柱としてきました。1963年に全国の大学に先駆けて「OKITAC5090」コンピュータを導入し、現在では、情報処理センター及び各学部等に約2,800台の各種コンピュータを導入し、又、バーチャルスタジオの設置やWWWをベースとしたマルチメディア電子教材システム等の本学独自の特色あるシステムを整備するなど、レベルの高い情報処理教育を行ってまいりました。

2002年4月には、更に質の高い情報教育を目指して、牛島和夫現情報科学部長をはじめ、全国の大学や主要企業、研究機関等からトップレベルの先生方を新規に本学の専任教員としてお迎えして、「社会情報システム学科」と「知能情報学科」の2学科で構成する情報科学部を開設しました。現在230余名の第1期の新入生を迎えて、美しい新校舎において最新の機器・設備を利用してIT時代の進展に対応できる強い倫理観や責任感と高度な知識と技術を持った創造的な情報技術者の育成を目指した最先端の情報教育がスタートしました。

情報科学部では、授業に対する学生評価を積極的に行うことや教員の講義をビデオテープに収め、学生の復習や教員の授業の改善に資する全国初のシステムの試み、また、2003年度から開設される高等学校教科(普通科)「情報A, B, C」への対応と教育の情報化を促進するために高等学校教諭を対象とした情報技術(IT)講習会、情報科学部開設記念講演会の開催、更に、総務省所管のe-Japan戦略の一拠点が情報科学部内に設けられるなど、初年度から活発な教育研究活動が行われています。

現在の情報化社会は、更に急速に高度化し拡大しつつ進展を続けると思います。この情報科学会誌が学術研究の発展と人間性豊かな高度情報化社会を築くために大きく寄与することを期待いたします。